

二五一五番

しきたへの 枕まくら動うごきて 夜よるも寝ねじ 思おもふ人ひとには  
後のちも逢あふものを

二五一六番

しきたへの 枕まくらは人ひとに 言こと問とへや その枕まくらには  
苔こけむ生むしにたり

二五一七番

たらちねの 母ははに障さはらば いたづらに 汝いましも我あれ  
も 事ことそなるべき

二五一八番

我わぎ妹子もこが 我われを送おくると 白しろたへの 袖そでひつまでに  
泣なきし思おもほゆ